

協力：一般社団法人シンク・ジ・アース／新渡戸文化高等学校教諭 山藤旅間

みなさん、こんにちは！ リヨウです。先月号に引き続き、メンバーおすすめの活動を紹介します。

アンケート募集

企画会議をしている中で、多くのメンバーから「読者の声を聞きたい！」という意見が出ました。そこでみなさんにお願ひです。このQRコードからみなさんの声を私たちに届けてください！ なたからの声 wait っています！！ (みつは)

SDGs for School
produced by Think the Earth

曹洞禅

今すぐできる！ おすすめの活動



所要時間 発表準備時間
費用 0円
エス・ディー・ジーズ SDGsの番号で言うと

- 13 気候変動に具体的な対策を

15 陸の豊かさを保つ

17 パートナリシップで目標を達成しよう

「FSC®アワード」

- 活動に応募する
- プレゼンテーションを作成し、発表する
- 優勝発表&優勝者は1年間アンバサダーとして活動できる！

●この活動の内容は、簡単に言えばコンペに参加することで環境破壊を止めるための方法をFSCジャパンと参加者で探すというものです。アイデアが評価されたら、考えた案にFSCジャパンと一緒に取り組むことができる機会をもらえる活動です！

※昨年は、オンラインで開催され、今年の開催については未定です。

■この活動のいいところは、アイデアさえあれば、モノは何も必要ないところ、ちょっとしたアイデアでも気軽に参加できるところです！ 知識をもう少しつけようと思ったら、事前に開催される勉強会に参加するといかもかもしれませんね！

私のきっかけ



のときに国連で定められたSDGsの存在を知りました。当時は小学生だったことや周りにSDGsのことを知っている人が少なかつたため、自分から行動することはできませんでした。中学3年生のとき、知人からニューヨークのブロードウェイで（英語で）SDGsに関するスピーチをして欲しいとの依頼を受け、そこから本格的に活動するようになりました！

現在、学校でチームを立ち上げ、SDGsについて、思いっきり話せる場所作りを進めています。

こんにちは！

マコです。

一番最初はユニセフの活動をしていました。

今すぐできる！ おすすめの活動

「ミートフリーマンデー」

所要時間 0分
費用 0円
エス・ディー・ジーズのSDGsの番号で言うと



- まずはミートフリーについて知ってみよう！
- 週に一度、お肉を食べない日を決めて動物たちの命を救おう！
- 日々いただいている命に感謝しよう！

■ミートフリーマンデー（Meat Free Monday）とは、直訳すると「月曜日はお肉を食べない」という意味です。畜産には、地球温暖化の原因の一つでもある「牛のゲップ」や、飢えている人がいる一方で、“お肉をつくるためにたくさんの穀物が消費されている”という問題があります。また、ミートフリーによって、人間に食べられるために殺されてしまう動物たちを救う（減らす）こともできます。

内閣府の食堂でも週に一度、お肉を使わないメニューがでます。見た目はお肉でも実は大豆からできているので、「ベジタリアン」や「ビーガン」と呼ばれる人たちや宗教的にお肉を食べない人でも食事ができます。

私は、一度お肉の美味しさを知ってしまった以上は簡単に止めることは難しいと思います。しかしちょっとずつでもお肉を食べる回数を減らし、その減らすことの意味を考えることが大事だと思います。またお肉を食べる際は（食事のときはいつもですが）、いただいた命を大切にすることや、残さず食べることも重要だと考えます。



私のきっかけ



こんにちは！
みなみです。
私は3年前の
ES-ティーン・ジース
中学校の授業で
SDGsを初め
て知りました。世界には解決しな
くてはならない問題がたくさんあ
ると思いましたが、その時は行動
には移せませんでした。

私がSDGsに関係する活動をするようになったのは、1年前に「やさしいせいふく」という活動のメンバーと出会い、学生でも行動を起こせると感じたことがきっかけです。一人で行動を始めるのはなかなか難しいですが、仲間と一緒に取り組むうちに刺激を受け、様々な活動に興味を持つようになりました。



いま すぐできる！ おすすめの活動

「お下がりを着よう！ あげよう！」



しょうじ かん
所要時間
すうぶん
数分～
ひよう
費用
0円
ES-ティーン・ジース
SDGsの番号で言うと



1. 要らなくなった服を見つけるか、周りの人に要らない服がないか聞く
2. 服をもらったり、あげたりする
3. 服を長く、大切に着的（これが大事！）

■兄弟や友だちからお下がりをもったり、あげたりしたことはありますか？ 実はお下がりを着ることもSDGsに繋がっています！ 服を作るには、「材料→糸をつくる→生地をつくる→染色される→縫製される」というような長い過程を通る必要があります、作る過程で多くのエネルギーが使われます。そのため、繊維産業は世界で第2位の環境汚染産業ともいわれています。

だから、一着一着を大切に使うことが重要で、その手段がお下がりで何度も同じ服を着ることです。お下がりを探すために、まずは周りの人に着ていない服がないか聞いてみてください。また、自分の服でサイズが合わなくなったものは、捨てるのではなく着てくれる人に渡してみましよう！

